参考文献:山渓カラー名鑑 日本の野鳥

コムクドリ Sturnus philippensis 種名 分類 スズメ目ムクドリ科 複雑な模様をしたムクドリによく似た鳥。夏鳥とした渡来し、本州中部以北で繁殖 する。渡りの途中には、その他の地方でもよく観察される。国外ではサハリン南部と 特徴 南千島だけで繁殖する。 本州中部では山地の、北日本では平地から山地の落葉広葉樹の明るい林に棲 息し、人里近くにも多い。梢近くで行動することが多く、枝から枝へと移動しながらク モや昆虫などを捕え、ヤマザクラなどの実もよく食べる。地上では両脚を交互に出し 生活 て歩く。繁殖期にはつがいで生活し、樹洞などに営巣するが、巣箱、屋根の隙間、石 垣の間などにも営巣する。産卵期は5~7月。卵数は4~6個、抱卵日数は8~11日 位、巣立ちまで 13~14 日位である。 繁殖期には木々の茂みの中で「チィチョチィチョー、ポーピィポーピィ、ジョイジョイ ジョイ」など、明るい声と濁った声を混ぜてさえずる。地鳴きは「キュルキュル」で、警 声 戒声は「ジェーッ」と濁っている。 体形はムクドリと同じだがやや小さく、より淡色の部分が多い。くちばしと脚は黒 見分け方 い。オスは頬が赤茶色で翼に白斑があり、メスは頭や下面全体が白っぽい。 時期 その他 全長(L)19cm 翼開長(W)32cm